



No.68 通算No.81 2024年2月

NPO東京高齢者就労福祉事業団

発行

発行責任者 安藤 忠

編集責任者 藤田 誠

連絡先 新宿区中落合3-18-3電話3951-7336

2024年

新年を迎えて

理事長 安藤 忠



私たちがとりまく情勢について、元旦に能登半島大

地震が起こり、亡くなった方々が230人以上となり、哀悼の意を申し上げます。

被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。一刻を争って人命救助と被災者救援であります。

いま、自民党の政治資金パーティーをめぐる裏金疑惑は、ついに検察当局を動かす、政権党を揺るがす一大事件に発展しつつあります。岸田政権は一昨年に「安全保障3文書」を閣議決定し「敵基地攻撃能力の保有」や防衛費の2倍化、5年間に43兆円など大軍拡に突き進もうとしています。これは「専守防衛」の原則と憲法を否定する「戦争する国家づくり」です。

事業団の仕事が安定的に確保できるように奮闘しましょう。

三鷹事業所を視察して

安全衛生委員会 遠藤 浩

1月16日、かねて予定していた三鷹事業所の「マス清掃」を見学した。作業現場は三鷹市新川の比較的新しい住宅地内のマス清掃でした。当日の予定数量は52ケ、人員は2人一組構成で2組。作業者は4人と監視1人総計5人です。2人の作業は熟練し仕上がりもきれい。作業を行う上で気をつけていることは手の指をマスのフタにはさむこと。

フタを持つて少し移動する時に腰に重さがかかるので腰痛にきをつけているとのこと。作業員は当事業団どこでもそうだが高齢であり人員不足は目に見えている。三鷹事業所の問題の所存は事業団全体の問題であることを示している。全事業所をあげて解決しなければならぬこと。安全の確保である。

四季彩々

今年は何やら国中で一大事変が起こるかも知れない。元日、グーラ・グラ！と揺れを感じたが、能登地方の大地震は大変な被害！20日現在、死亡者が234人も。救済に向かうにも道路の寸断で通れない。復旧に四ヶ月も掛るとか？政府は何をしているか！こんな時こそ自衛隊を含め総動員するべきだろう▼その肝心な政府自民党だが、それどころでないらしい。

「裏金問題」で揺れる。パーティを開いて違法な裏金をつくらせていた。検察の捜査が続く、逮捕者の可能性も▼1月19日、「金権腐敗の自民党政治糾弾！」を訴えるデモと集会が国会前であった。「裏金をつくらせた議員を辞めさせよう」「1日も早く総選挙を！」の声が上がったという。貧困に喘ぐ国民・労働者なら「そうだ」と拍手を送りたい▼考えてみるとこんな国会議員をつくらしたのは国民の側だ。選挙の際、騙されて選んでしまうのだ。こんなことが長年続く。一大事変「自民党政治を終わらせる」年に。

(S)

この時期は特別に注意を

現場代理人、現場責任者会議を開催

1月12日(金) 現場代理人、現場責任者会議をラパスホールで開催しました。

「一般競争入札、指名競争入札」と

安藤理事長は開会あいさつと司会を担当し、いま入札で年間の仕事確保が本格的にはじまる次期を迎えている。特別にこの次期は、



青木副理事長

「指定管理者制度」などが厳しい競争があります。

トラブル、事故を起こさないように注意してください。

あります。

①、青木実副理事長から、現場代理人、現場責任者の役割について、話があり、

④、作業部の高林知一さんから、自転車で移動するときの注意事項について、今後、交通ルールを守らな



小川さん

いと罰則が厳しくなることが話されました。

と、減るので、必ず要望して欲しい。

②、猪野保正社会保険労務士から、最近の労災事故について、公園の中でも移動時に、自分の足をよく見て歩かないと、つまづいて転倒事故があったので注

⑤、小川広志作業部責任者からは、新宿(その2)の仕事を取り返した時の仕事のやり方、昨年移動した何人戻ってこれるか、かなり厳しいと思う。

意する事、緊急重大事故の時は救急車をよび、早めに報告して欲しい。

③、尾形信行副理事長から、入札制度については、

⑥、赤羽目寛専務理事から、高齢者事業団が労協センター事業団から自立していく取り組みと、仕事拡大について話がありました。最後に、感想文と、新年の抱負を書いてもらい終了しました。

2024年の抱負

順不同

平和が一番大切だと胸にきざむ

一つ一つの与えられた仕事を着実にする事

皆で取り組んで行きたいと思います

今年もよい年でありませうように

公園を利用される近隣住民や子供達が

安心安全に利用できるように

赤字現場の改善

今年は辰年龍のごとく飛躍の年にしたいと

思います

必ずプラスにするぞ！もしプラスになったら

それが続くように

まずは健康第一で明るく楽しく

一年間過ごしていきたい

大きな揺れにまずは身を守り協力して再建！

引き続きこつこつ記録作業します

健康第一で働く高齢者の雇用守りたい

安心して仕事できる年に

健康に注意して、無事故・無違反を

心がけましょう

未来に向けた事業団をみんなで作りたい

「雲外蒼天」「勤儉力行」

世田谷の今の現場を誠実に作業して守り

役所の信頼をより強固なものに

遠藤 浩

井上博行

三上 実

和田由紀子

平川克己

深井健一

佐藤美香

下谷昌幸

高林知一

藤田 誠

館野 綾

赤羽目寛

栗原文男

安藤 忠

尾形信行

内田龍介

遠藤寿子

第36回日本高齢者大会in東京(2023年11月12日~13日)

大会スローガン
まちから村からの連帯でひとり
ぼっちの高齢者をなくそう!

サブスローガン
ストップ軍拡 かがやけ人権

建交労は第8講座 「高齢者の就労と貧困問題 下流老人問題の現在と未来」 を担当しました

「日本高齢者大会」は、毎年開かれており昨年は11月12日~13日、東京で開かれ全国各地から3000人が参加。12日は大正大学で13日の学習講座と14の分科会と4つの移動分科会が行われ、13日は文京シビックセンター



柳沢協二さん

で、元内閣官房副長官補、柳沢協二さんの記念講演「非戦の安全保障論・・・戦争しない国であり続けるために」の講演がありました。

高齢者の就労と貧困問題

建交労が担当したのは、第8講座で、「高齢者の就労と貧困問題」「下流老人問題の現在と未来」と言うタイトルで聖学院大学客員準教授の藤田孝典先生の講座でした。
最初に、藤田先生の活動に触れておきますと、彼は大学時代の2002年から



藤田孝典さん

ホームレスの支援を始め、現在は特定非営利活動法人(NPO法人)ホットプラスの理事として活動している社会福祉士(ソーシャルワーカー)です。

高齢者問題を「見える化」

高齢者の貧困問題にも取



シビックセンターの舞台上で要求を掲げる東京の仲間たち



舞台では文化行事も行われました

り組んでおり、「下流老人」「続下流老人」「続々下流老人」のいわゆる「下流老人」3部作を出版して高齢者の実態を「見える化」し、その対策を政府に訴えてきました。その結果大きな反響があり世論も高まり、政府も対応せざるを得なくなり、住民税非課税世帯に給付金が相次いで出されるようになったとのことでした。

月額八万円の最低保証年金が望ましい

「年金が下がり、国民健康保険料や介護保険料は上がり、介護の利用者負担は増える、後期高齢者の窓口2割負担の拡大も狙われている。加えて物価高は続く、高齢者には暗い未来しか描けない」そう切り出した藤田先生は、高齢者限定のベーシックインカム(年齢・性別・所得水準などに関係なく、すべての国民や市民に一律の金額を恒久的に支給する基本生活保障制度)が必要だと訴えました。月額8万円程度の最低保証年金制度の導入が望ましいとのことでした。

2024年の
第37回日本
高齢者大会
は愛知県で
行われます



キムチ豆腐

簡単レシピ 【男飯】キムチ豆腐

材料	(1人分)
豆腐	1丁
キムチ	好きなだけ
醤油	好きなだけ
ごま油	好きなだけ
ネギ (あれば)	好きなだけ



作り方

1. 皿に豆腐を盛ります
2. キムチをのせます
3. 醤油、ゴマ油をかけます
4. 完成です



前列の1番右が安藤理事長

ソーシャルファーム (社会的企業)の認定決まる

専務理事 赤羽目寛

東京都が2019年にソーシャルファーム条例を制定してはじめられた。ソーシャルファーム事業について、高齢者事業団江東事業所が2020年〜2023年に申請し認定を目

仲間の消息

【入会】

江東 高橋 寛治
江東 小山田 昭一
墨田 田口 幸雄
文京 久司 英生
世田谷 田代 雄三
板橋 沢田 準一
板橋 黄 國雄

【逝去】

江東 奥永 弘之
江東 川上 由紀美
墨田 藤嶋 義信
墨田 斉藤 昌紀
世田谷 鈴木 宜興
板橋 星野 福治
三鷹 福岡 成一
作業部 坂内 常浩

【退会】

江東 竹本 正孝

常務理事 茂住 謙治
立川 吉安 信雄

この人は誰でしょう



ヒント 作業部のエース

前号で尾形副理事長の正解を⑦としましたが③の間違いでした。訂正いたします。

指してきました。3回目にしてようやく2024年1月になって認定が承認されました。これを受ける東京都から5年間、補助金が下りることと、東京都の委託物件について総合評価方式が導かれます。いづれにしても高齢者事業団の目的、理念である「高齢者、障害者等、就労困難者の就労促進する」の目的達成に寄与することとなります。